

SCRAP & RECYCLE

2013年度

CSRレポート

2013年4月～2014年3月実施分



株式会社クリーンシステム

CLEAN SYSTEM Co., LTD

<http://www.csyam.com/>

限りある資源を大切に 私たちは地域とともに



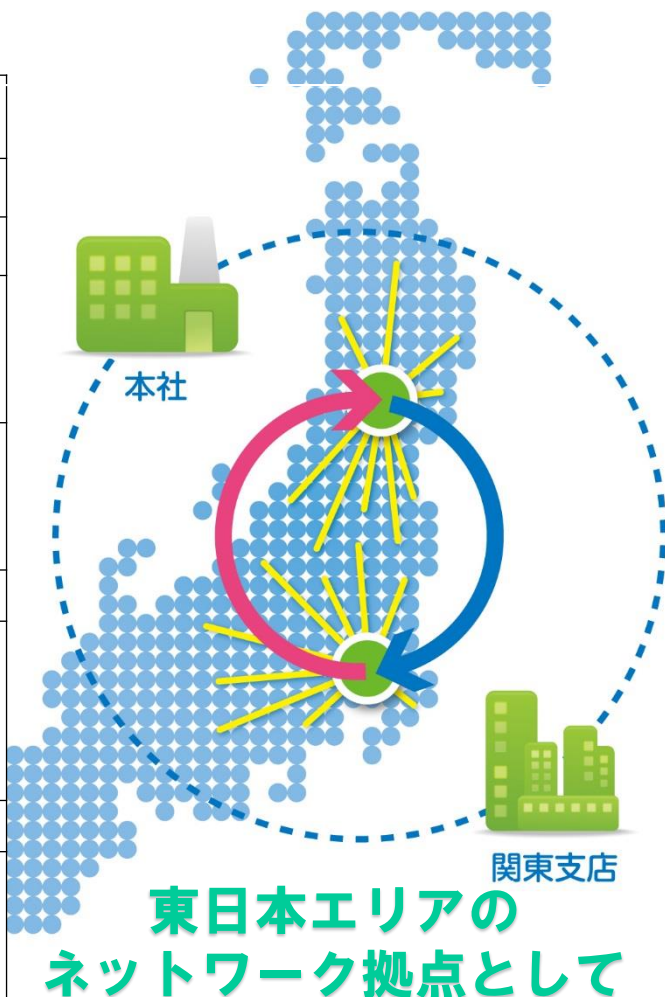
～Contents～

会社概要	2
経営方針及びCSR方針	4
2013年度CSR活動の実績概要	5
＜特集＞	
太陽光発電設備の設置及び非常時協定	7
3.11東日本大震災に対する復興支援	8
企業価値向上への取り組み	9
山形県循環型産業施設整備補助金を受けたRPF成形機の設置	9
従業員満足度向上への取り組み	10

表紙デザイン：トータルプロデュース office HISASHI 藤島 恒一氏

会社概要

商号	株式会社クリーンシステム (英) Cleansystem Co., ltd
設立	1978年(昭和53年)2月
資本金	1億円
本店	〒990-0845 山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5 TEL 023-644-2228 FAX 023-644-7010
支店	〒277-0804 千葉県柏市新十余二7-8(十余二工業団地内) TEL: 04-7135-1253 FAX: 04-7135-1263
代表者	代表取締役 鈴木 隆
主な事業内容	解体工事業(山形県知事許可) 産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業(リサイクル、中間処理) 環境コンサルタント事業
従業員数	97名(2014年3月31日現在)
所属団体	一般社団法人山形県産業廃棄物協会 一般社団法人山形県解体工事業協会 山形再生骨材協同組合 NPO法人北日本木材資源リサイクル協会



<本店所在地>

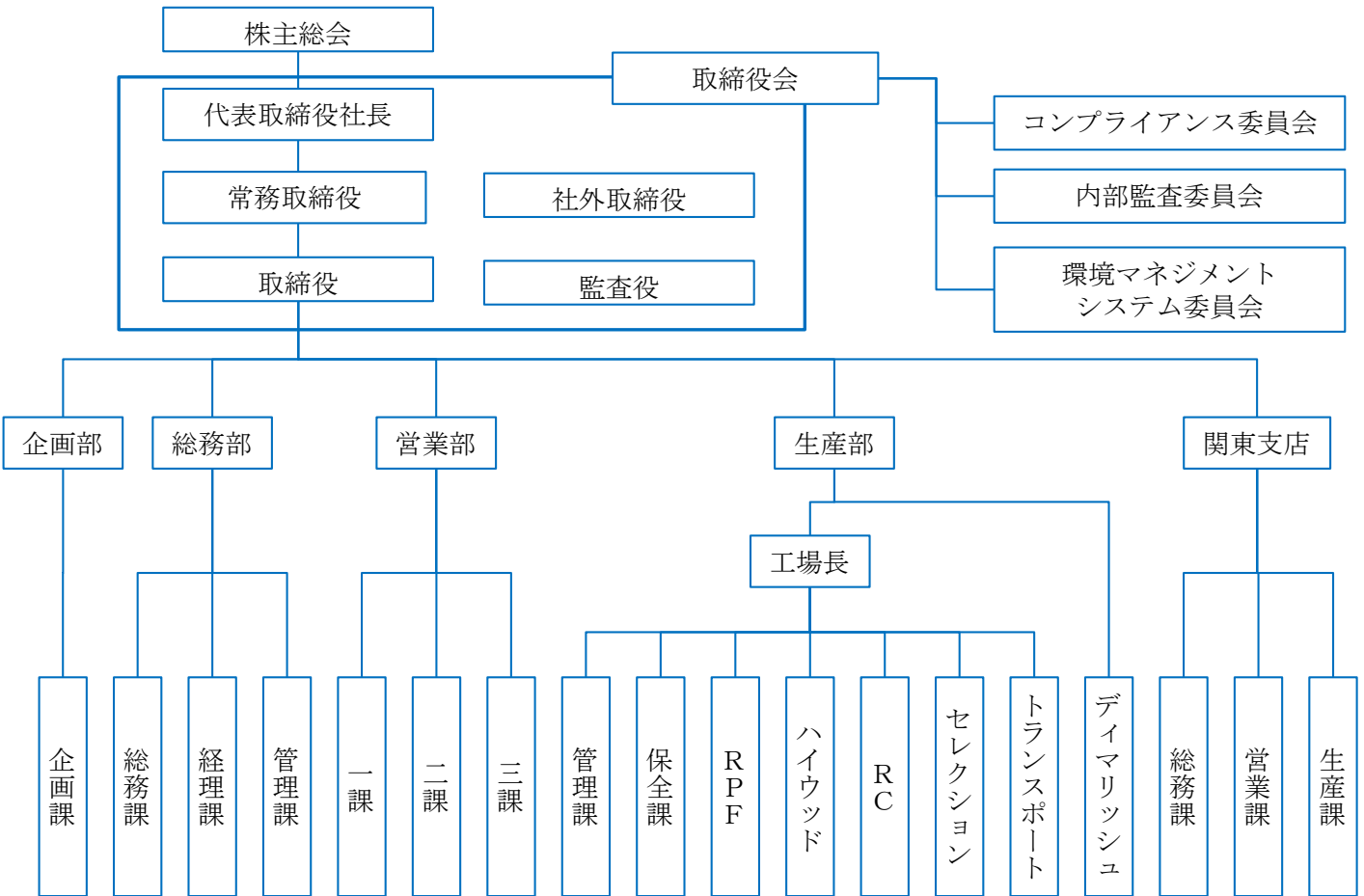
- 山形駅より車で10分
山形駅：山形新幹線、奥羽本線等
- 山形中央ICより車で6分
 - ①東北中央自動車道
 - ②山形中央IC(山辺方面)
 - ③国道458号線左折
 - ④右手ローソン通過後、信号左折
 - ⑤飯塚橋手前T字路右折(看板あり)
 - ⑥クランク後、橋(ガードレールあり)
手前を左折し、道なりに直進
 - ⑦急カーブ後、左手側

<支店所在地>

- 柏たなか駅より徒歩で10分
柏たなか駅：つくばエクスプレス線
- 柏ICより車で2分
 - ①常磐自動車道
 - ②柏IC(千葉柏方面)
 - ③国道16号線
 - ④1つ目の信号左折
(十余二工業団地内)
 - ⑤約300m直進し左手側
(柏プラネット様の隣)

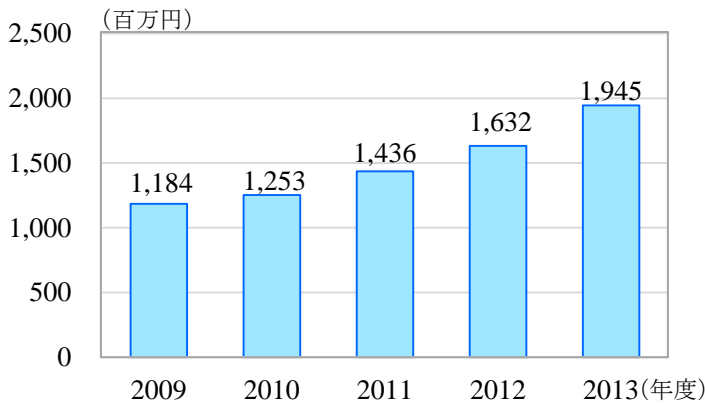


組織図

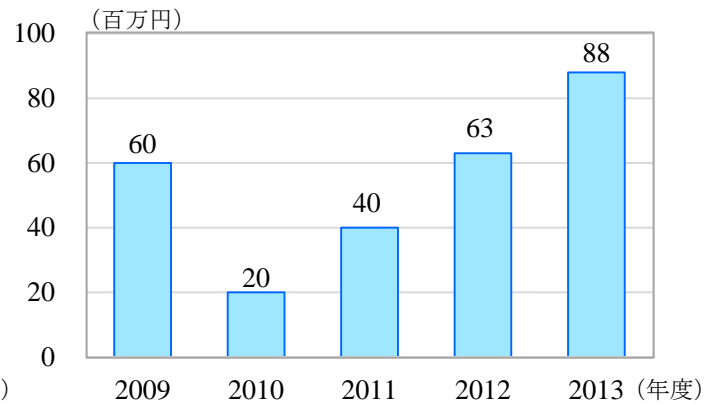


経営成績

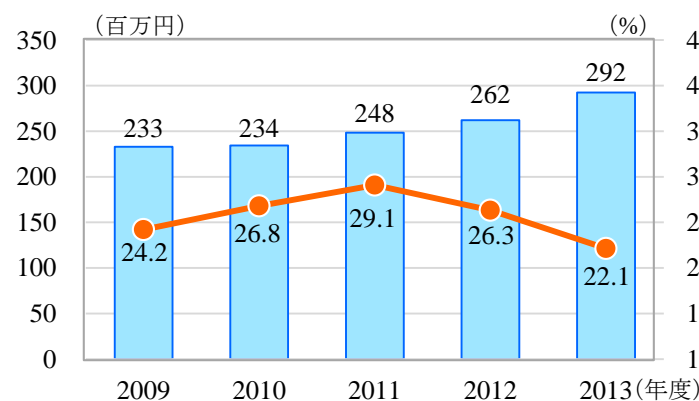
売上高



営業利益



自己資本比率



解体工事の主な実績 (2013年度)

- コープ山形桜田店 (山形市桜田東)
- コープ千石センター (鶴岡市長者町)
- 東北文教大学 駒草寮 (山形市片谷地)
- 手塚製本所 (東京都)

2013年度経営方針

基本理念

創造性を発揮した発展と成長

基本目標

効率的な業務
運営と管理

地域NO.1
の企業活動

東日本エリア
3Aの実践

方策

各人のスキルアップ
による更なる
売上・収益の確保！

人・物・エネルギー
の次世代に向けた
有効活用！

お客様からNO. 1と
期待される営業展開
および信頼の獲得！

地域すべての
ステークホルダー
との信頼関係の構築

安全・安心・安定を
幅広く実践する
ネットワークづくり！

機能的・具体的な施策の実施

2013年度CSR方針

基本理念：持続可能な発展

総務部

- ・HPを通じた情報公開
- ・地域住民との情報交換
- ・毎週の全員一斉清掃活動
- ・健康管理の徹底

営業部

- ・外部コミュニケーションの強化
- ・計画された清掃の協力

方策

地球環境のための
廃棄物再資源化

透明性の高い
情報公開

コンプライアンス
の推進

ステークホルダー
との共存共栄

企業価値・利益
の向上

企業市民として
の社会貢献

従業員満足度
の向上

生産部

- ・労働安全管理の徹底
- ・業後清掃の徹底
- ・放射能に関する安全確保と情報公開
- ・生産活動を通じた当社イメージアップ作戦

関東支店

- ・地域と共生

ステークホルダー

株主

排出
事業者

地域
社会

行政

従業員

取引先

ネットワーク
パートナー

2013年度CSR活動の実績一覧

CSR項目	活動内容	2013年度における主な取り組み	
			概要
地球環境のための廃棄物再資源化	廃棄物のリサイクル化	2013年度リサイクル実績はRPF 6,126t・木材チップ 9,773t・再生砕石 41,962tでした。	
	山形県補助金を活用して、新型RPF成形機導入	山形県のリサイクル率向上を目的としたリサイクル施設整備補助金を受け、設置しました。	P9へ
企業価値・利益の向上	優良産廃処理業者認定	優良産廃処理業者認定制度について、本社はすべての保有許可について認定を受けました。	P9へ
	災害廃棄物の広域処理	2012年度の災害廃棄物受入れに対して、2014年3月12日に環境大臣より表彰を受けました。	P8へ
	取引4行の協調による中小企業特定社債発行	一定の資格要件を満たしたことの証明で、当社の財務内容の優良性がアピールされました。	P9へ
	エコキャップ回収活動	ペットボトルのキャップ約3万個を回収し、ワクチン80人分を寄付しました。	
	自衛消防団の訓練及び実績	火災発生時の自衛消防団を結成しており、定期的に訓練を実施して万が一の事態に備えております。	
	山形県解体工事業協会での共同防災訓練	4/30山形市消防団と山形県解体工事業協会が共同で大規模災害に対する訓練を実施しました。	
	ステークホルダーとの共存共栄	受付窓口イベントの実施	お客様を明るくお迎えするため、季節に合った窓口装飾やプレゼントを実施しております。
施設見学者の受入		2013年度は50組の当社の施設見学者が来社されました。	
太陽光発電開始に伴い小型蓄電池を活用した非常時協定締結		地元2地区と大規模停電などの有事に備え、非常用電源提供協定を締結し、大変喜ばれました。	P7へ
地元行事への参加		地元のお祭りへのお酒奉納、飯塚地区納涼大会への参加、山形花火大会への協賛など実施しました。	
堤防通行止めの案内と看板の設置		河川堤防工事に伴う搬入路通行止めにより、迂回路の案内・誘導を実施し、安全を確保しております。	
企業市民としての社会貢献	河川アダプト団体の認定とその活動	毎週、定期的に事業場周辺のごみ拾いを実施し、環境美化に努めております。	
	山形市消防団協力事業所の認定	当社勤務の地域消防団員は、地域の有事の際は業務中でも消火活動に出動する体制をとっております。	
	緑の募金への参画	身近な地域や国内外の森づくりの活性化に生かされます。	
	赤い羽根共同募金へ参画	高齢者や障害者、子供たちなど、福祉活動の支援に活用されます。	
コンプライアンスの推進	関係法令の順守	廃棄物に関する基礎教育、個人情報保護法の研修会、マナー・クレーンへの対応研修などを実施しました。	
	安全パトロールの定期実施	指摘53件(2013年度)。現場周りなど、安全パトロールを定期的実施しております。	
	コンプライアンス委員会の設置	社内コンプライアンス体制の構築により、更なる法令順守体制の強化を図っております。	
従業員満足度の向上	アイデア提案制度の実施	従業員から業務に関わるアイデアを募集し、採用者に対する褒賞とともに業務改善に活用しております。	P10
	人材育成、資格取得の推進	業務に必要な資格取得を積極的に推進しており、毎年多くの資格取得者を輩出しております。	
	サッカーJ2モンテディオ山形の正会員加入	地元サッカーチームの正会員に2011年度から継続加入し、会社挙げて支援しております。	
	インフルエンザ予防接種費用 助成	従業員全員に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成しており、接種率100%を達成しました。	
	社外行事イベントへの参加	地域のソフトボール大会への参加を行い、準優勝するなど、従業員の英気も養っております。	
	社内報の発行、従業員への配布	2013年度よりスタートし、これまで6刊が発刊され、社内のコミュニケーションづくりに生かしています。	
	水道断水時、従業員に備蓄飲料水提供	7/22大雨により一部地域の水道が断水。断水地域居住の従業員に備蓄飲料水を配布、支援しました。	
	従業員への労い	安全作業表彰、永年勤続表彰1名(20年以上)、年末の御礼の菓子や節分の福豆配布などを実施。	
	業務改善への取り組み	場内重機に無線機完全装備し、また、長距離便に非常用グッズを搭載するなど、安全、有事に備えました。	
	定年再雇用制度の見直し	無条件での定年再雇用年齢を段階的に引き上げ、2025年度には65歳まで無条件再雇用できる制度を制定しました。	
	優良従業員表彰	山形市商工会議所主催の優良従業員表彰に当社から6名を推薦し、表彰を受けました。	
	営業情報キャンペーン及び表彰	従業員全員による営業案件の紹介運動を実施、多くの実績を挙げました。優秀者表彰も実施しました。	
透明性の高い情報公開	情報公開と定期的な情報更新	当社ホームページ及び産廃情報ネットにて、随時会社情報を公開しております。	
	公害防止協定に係る測定実施及び公表	山形市との公害防止協定に基づき、敷地境界における騒音振動、臭気などを測定し公表しております。	
	ごみゼロやまがた環境展、2013NEW環境展出展	ビックサイト(5月)、山形ビッグウイング(10月)に出展し、会社及びエコについての情報を発信しました。	
	メディアを介した事業内容の発信	地元テレビ局や新聞を積極的に活用してのPRにより、当社事業の理解度アップに努めました。	
温室効果ガスの削減目標及び実績	温室効果ガス排出量低減への取り組み	場内照明のLED化、集じん機等のINV化など、省エネ化を実践推進しております。	
	収集運搬車両及び社有車のCO2削減の取り組み	社有車の低燃費車への代替(4台)、トラック:平成27年度燃費基準達成車2台を納入しました。	
	太陽光発電設備設置	年間約44,000kWhの発電を見込んでおり、全量売電しております。	P7へ

3.11東日本大震災を教訓とした

太陽光発電と地元地区との非常時協定

3.11東日本大震災を受け、太平洋側の地域は大変な被害を受けました。隣県でも山形県のみならず、東日本地域の各地で数日に及ぶ大停電を経験したことは記憶に新しいところです。また、福島第一原子力発電所事故を受け、全国的に電力不足が社会問題化し、再生可能エネルギーの活用推進が国策として掲げられております。



これを受け、当社としてはその一助となるべく、平成25年12月25日工場の屋根に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を東北電力に提供する事業を開始しました。規模は50kWと小規模ながら年間発電量44,000kWh相当を見込んでおり、1家庭4人家族と仮定して、およそ10家庭分の電力を提供できます。

通常は全量売電致しますが災害等により停電が発生した場合は売電ができなくなるため、これを有効に活用する方法はないものかと模索しておりました。平成24年4月から東日本大震災で発生した災害廃棄物を広域処理として受入れを行いました。その際特に地元地区（飯塚地区・悪戸地区）の住民の皆さんには多大なるご理解とご協力を頂きました。その御恩に報いるため、当社にて小型蓄電池を導入し、非常時には地元の皆さんに使って頂こうと考えました。そして、平成25年12月26日停電を伴う災害が発生した場合には小型蓄電池を地域住民の皆様へ携帯電話充電などの小型電子機器の電源として提供する旨の協定を取り交わしました。

本協定により、東日本大震災の教訓をもとに、ライフラインの確保が最も望まれる場面で住民の皆さんに対して少しでも御安心を提供できるものではないかと考えております。



2013.12.26 非常時協定調印式



非常時に使用する小型蓄電池

【設備概要】

◎太陽光発電設備

設備施工 : イシイ株式会社 (宮城県)
株式会社ショウジ (宮城県)
パネルメーカー : ハンファQセルズ
発電容量 : 49.5kW

◎小型蓄電池 (エネレージ)

設備提供 : イシイ株式会社 (宮城県)
容量 : 1,056Wh×3台
使用事例 : 携帯電話約500台分の充電
電灯 (100W) を約10時間

3.11東日本大震災の被災地隣県の企業として

できる限りの復興支援

未曾有の被害を受けた東日本大震災から、3年が経過しました。災害廃棄物の処理状況は岩手県97%、宮城県99%、福島県68%（平成26年3月26日現在、復興庁）となっており福島県以外はほぼ災害がれきの処理が完了しつつあります。

現在は住宅再建・復興まちづくりなど着々と再開発が進められてきております。

当社としましては震災発生直後の平成23年4月から現地に人材を派遣するなどして、平成25年12月までの約2年半、復興支援活動に従事してまいりました。

支援としては

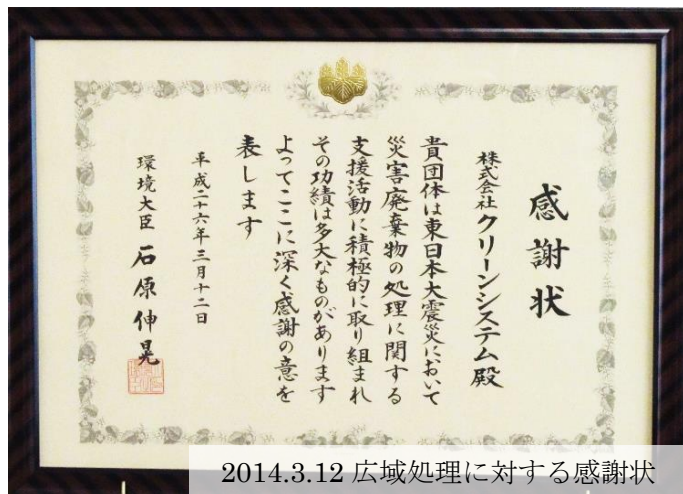
- ・仙台市泉地区の集積場支援
- ・荒浜の井土浜処理区への人材派遣
- ・仙台地区の建築物解体業務支援2年間
- ・岩沼処理区から震災廃棄物1,200 t 受入及びリサイクル（木くずのみ、広域処理）
- ・石巻処理区への人材派遣

など、少なからず復興支援のお役に立てたのではないかと自負しております。

なお、当社への災害廃棄物の受け入れは地元地域住民への説明会を実施後、県同士（宮城県と山形県）の協議により全国で初めて広域処理が実現した事例となっております。また、平成26年3月12日災害廃棄物の広域処理に貢献したことで環境省より感謝状を賜りました。今後も、出来る限りの復興支援に協力していきたいと考えております。



2012.1.24 仙台市井土浜仮設焼却炉



2014.3.12 広域処理に対する感謝状



2012.4.25 広域処理1台目の放射能測定



2012.4.25 報道陣に囲まれる鈴木社長

<復興支援スローガン>

成し遂げよう 復興を遂げる その日まで!

↑ 当社従業員の作品メッセージです。

企業価値向上への取り組み

優良産廃処理業者認定

本制度は情報公開をはじめ財務状況や遵法性、5年以上の実績、環境配慮への取り組みなど、通常の許可基準より厳しい基準をクリアした優良な処理業者に対して都道府県知事が認定する制度です。

全国を見ると経営難等により不法投棄や不適正処理を行う業者が存在します。もしその業者が摘発された場合、処理を委託した排出事業者に対しても法に基づき責任が問われることがあります。優良認定業者はこの心配がまずありません。また、環境配慮契約法においては入札案件について優良産廃処理業者への処理委託が評価加点対象になっているほど社会的に信頼がある認定制度です。廃棄物の処理はぜひ優良産廃処理業者にお任せください。



山形県内の産廃処分業者216社のうち優良認定業者は9社のみです（H26.4.3現在）
また、産廃収集運搬業について、当社は10県市の許可を保有しておりますが、すべての県市で優良認定を受けております

<優良認定区分>

○産業廃棄物収集運搬業

山形県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟市 合計10県市

○特別管理産業廃棄物収集運搬業

山形県

○産業廃棄物処分業

山形県

中小企業特定社債保証制度の活用

2014年3月25日、取引4行（きらやか銀行、商工中金、七十七銀行、山形銀行）による「中小企業特定社債保証制度」を利用した無担保社債（2.5億円）を発行しました。本制度は低利で固定の長期安定資金の調達が可能となるほか、一定の資格要件を満たす優良企業であることと財務内容の健全性を社外にアピールしたことになります。また4行協調による取り組みは県内でほとんど例がなく、金融面での十分な支援体制が確保されていることが示されました。

山形県より循環型産業施設整備事業費補助金を受け RPF成形機の増強

当社ではプラスチックと紙類を混合・圧縮して固形燃料（RPF）を製造しておりますが、通常焼却処分される量もRPFに混合してリサイクル率を向上させる事業が評価され、山形県循環型産業施設整備事業費補助金を受けてRPF成形機を入れ替えし、製造能力を向上いたしました。（1日あたり12時間稼働で、24.0 t/日→43.7 t/日）

定格電力400kWのハイパワー装置と適正な温度管理能力を有し、安定したリサイクルが可能となっております。



従業員満足度向上への取り組み

「会社は人」で成り立っているという基本認識のもと、従業員一人ひとりが働きやすく、働きがいを感じることができる会社を目指し、個人の資質、能力を最大限に発揮し、信頼関係の中で仕事を進めていくことができる職場環境づくりに向けて、積極的に取り組んでいきます。

人材育成・資格取得推進

ステークホルダーの要求に応えるため、当社では資格取得を奨励しております。毎年、国家資格をはじめ、外部研修や技能講習については会社から一部助成しながら、従業員の一人ひとりのスキルアップを図っております。

2013年度は55名が新しい資格を取得し、日々の安全・安心・安定的な業務に活用しております。

社外イベントへの参加

当社従業員はとても活発な従業員が多く、地元のソフトボール大会に出場しており、業務以外での従業員同士のコミュニケーションを図るとともに、地域の交流を深めております。

2013年度の大会では惜しくも準優勝でしたが、翌年こそは優勝できるよう、怪我をしないようがんばります。



2013.6.16ソフトボール大会

災害時の従業員支援

2013年7月、全国的な大雨により各地で洪水や浸水などの被害がありましたが、山形市周辺ではダムの濁り等が原因で上水道が数日にわたり停止した地域がありました。

これに対し当社では当該地域に居住する従業員21名に対して、当社で備蓄している飲料水（2ℓペットボトル91本）並びに浄水入りのポリタンクを配布いたしました。水がまったく使えなかった状況から、従業員からは大変喜ばれました。

アイデア提案制度

職場環境の改善や安全対策、コスト削減や売上アップ等に関する従業員のアイデアを一つでも生かすため、提案制度を運用しております。このアイデア提案制度も従業員のアイデアから発案されたものであり、2013年度は9件が採用され、業務に生かされております。

社内報の配布

2013年4月より社内報の発行を始めました。社内報は従業員同士のコミュニケーションを目的として、従業員の公私を含めた紹介や社内外活動の発信源となっており、社内報タイトル「虹色スマイル」という名の通り、明るく楽しい話題で盛りだくさんとなっております。2013年度は6刊が発行しており、大変好評を頂いているところです。

虹色スマイル

J2モンテディオ山形正会員継続加入

福利厚生の一環としてサッカーJ2モンテディオ山形の正会員として2011年から継続して加入しております。従業員に対して試合観戦の希望者にチケットを配布できるだけでなく、地元サッカーチームを応援することで地域の活性化に寄与できると考えております。

インフルエンザ予防接種費用の助成

毎年、感染症の話題がメディアで取り上げられておりますが、特にインフルエンザの流行は毎年問題になります。当社のような中小企業で感染症が流行した場合、会社機能を停止せざるを得ない状況になるため、インフルエンザの予防接種を義務化し、全従業員に対して費用の一部を助成しております。またインフルエンザに感染した場合は1週間以上休業を取るよう義務付けており、社内で感染症が拡大する事態は発生しておりません。



〒990-0845

山形県山形市飯塚町字中河原1629番地の5

TEL 023-644-2228

FAX 023-644-7010

HP <http://www.csyam.com/>

クリーンシステムの情報閲覧はこちらで！



<ホームページ>



<産廃情報ネット>

PC、スマートフォン、i-Phoneでご覧ください。